

【アンケートから抽出した課題・要因】

新型コロナウイルス感染症まん延後の生活の変化について	
アンケートからの意見	要因分析・課題分析 及び 今後も想定できる課題
<ul style="list-style-type: none"> ・旅行等、外出の中止・減少があった。 ・入所施設では面会が制限された。 ・通所、入所施設でのイベント、行事等の中止、日中活動が縮小した。 ・オンラインによる会議・研修等の参加が増えた。 	新型コロナウイルス感染症に関わる制度や制限によるもの
<ul style="list-style-type: none"> ・外出時、他人に対し罹患者ではと半信半疑になった。 ・マスクがつけられないので外出がしにくくなった。 ・電車やバスの公共交通機関の利用や外出を控えるようになった。 	新型コロナウイルス感染症自体の感染の恐れによるもの
<ul style="list-style-type: none"> ・物がなくなることへの不安があった。 ・コロナ禍で病院の出入り口が1か所になった。待ち時間、混雑した電車から、院外処方箋で近隣の薬局を利用するようになった。 ・就労者は自宅待機で収入の保証はあったが、生活リズムが崩れ精神的にも不健康に陥った。自宅待機から解雇になる方もいた。 ・区施設に使用制限がかかり、楽しみにしていた時間が減少した。 ・都の公園や公共施設の使用制限 	制限等により生活リズム・体調等に影響がでるもの

新型コロナウイルス感染症まん延後の福祉サービス利用について	
アンケートからの意見	要因分析・課題分析 及び 今後も想定できる課題
<ul style="list-style-type: none"> ・移動支援が利用できなかった。家時間が増えた。家族で行くしかなかった。利用に対し消極的になるご家庭があった。 ・短期入所事業（ショートステイ）の休止及び利用規制があった。 	事業所の都合による要因（緊急事態等の制限がない状態）

<ul style="list-style-type: none"> ・通所先の施設に感染者が出て、濃厚接触者となると PCR 検査が陰性でも入浴等ヘルパーのサービスが一切使えなかった。 ・通所施設で、給食後の歯磨きがされなくなった。 ・相談支援では自宅への訪問ができず、把握がしづらくなった。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・グループホームで提供するサービスは変わりなく行えている。 	新型コロナウイルス感染症の影響はあるが、生活等の維持はできているもの

新型コロナウイルス感染症まん延後の利用者家庭の変化について	
アンケートからの意見	要因分析・課題分析 及び 今後も想定できる課題
<ul style="list-style-type: none"> ・本人を抱え負担大。本人も今までにない環境から様々な問題行動が現れた。 ・入所施設では、ご家族で亡くなられた方もおりコロナ禍でなかなか会うことができないという状況であった。 ・利用者が通所できない状況がつづいたため、家庭での主たる介護者への負担増につながった。 ・通所施設から通所自粛を求められ、家庭の負担が増えた。本人の問題行動が出現した。 ・家族会の活動ができず、つながりが薄れ、ストレスや孤立につながった。 	新型コロナウイルス感染症に関わる制度や制限によるもの
<ul style="list-style-type: none"> ・TV・メディアの映像から不安や恐怖心が生じ、ご本人が不安定、不眠となった。 ・先が見えない状況から、もし感染したら親子で死んでもいいという家庭があった。 	新型コロナウイルス感染症自体の感染の恐れによるもの
<ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある本人や親が亡くなったり、長引くコロナ禍で体調不良で通院したりしている。 ・ヘルパーを利用しつつ高齢の両親で協力し介護していたが、父親が亡くなりヘルパー事業所を探すため20件ほど連絡して大変だった。また、父親の運転で、家 	制限等により生活リズム・体調等に影響がでるもの

<p>族で出かけることができなくなり寂しそうだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者、家族の高齢化 	
<ul style="list-style-type: none"> ・緊急事態宣言の時期は、グループホームからご自宅への週末帰省を控えていただいたが、現在はご家庭に体調の悪い方がいない限り、希望に対応している。 ・いつもは見逃していた軽い少しの体調の悪さも敏感になり、すぐに熱を測り、手洗い・うがい・手消毒・マスクはかかせないものになった。 ・通所バスを利用のため、毎朝検温することについて本人も納得し習慣になった。 ・父が在宅ワークになったので、サービスが不要になった例もある。 	<p>新型コロナウイルス感染症の影響はあるが、生活等の維持はできているもの</p>

<p>新型コロナウイルス感染症まん延後の福祉サービス提供について</p>	
<p>アンケートからの意見</p>	<p>要因分析・課題分析 及び 今後も想定できる課題</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度、4年度と収入面では大きく落ちている状況。 ・生活介護事業については、区の代替措置としての在宅支援により稼働率は堅持できたが、短期入所事業の縮小による経営面での影響があった。 ・少しずつサービスを再開してきているが、コロナ感染症以前の水準までにはまだ戻らない。 	<p>新型コロナウイルス感染症に関わる制度や制限によるもの</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ショートステイは複数の特別支援学校や通所先から利用者が集まるため、学校や通所先のコロナ感染症の流行度によっては本人に体調の変化がなくても利用を控えていただく場面もあった。 ・今現在もコロナ感染症を気にして通所を控える利用者が数名いる。行事の減少や縮小、歯磨き支援の中止など活動に制限があり、家族から不満の声も少し出ている。 	<p>新型コロナウイルス感染症自体の感染の恐れによるもの</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度当初の緊急事態宣言時は通所の自粛規模縮小がどの施設にもあったが、在宅生活で問題行動が顕著になった例が少なからずあった。 	<p>制限等により生活リズム・体調等に影響がでるもの</p>

・グループホームに関しては特に変わりはない。	新型コロナウイルス感染症の影響はあるが、生活等の維持はできているもの
------------------------	------------------------------------

衛生用品や感染症対策必需品について	
アンケートからの意見	要因分析・課題分析 及び 今後も想定できる課題
<ul style="list-style-type: none"> ・家庭では、マスクや消毒液、手洗い用せっけん、うがい薬等、年間を通じて一日何回も使用するので負担が増えている。 ・マスクを長時間装着することで、皮膚疾患となり医療費も負担となった。 ・マスク、消毒液、使い捨てグローブ、ガウン等の出費が大きい。足立区からの寄付はとても助かっている。クラスターが出た場合等は、物品は大量に必要となる。 ・ヘルパーが発熱している利用者宅へ訪問する時に、ガウンなど着用しているが、入手困難な状況が続いていたので当初は大変困った。現在は入手可能だが高価。 	新型コロナウイルス感染症の影響により負担が増えているもの
・マスクは足立区からの支給もあるが、数が少なく品質があまり良くない。ゴムの部分が切れてしまうことがある。	衛生物品自体の問題・課題
・マスクができない、ズレても直せない人への誹謗中傷があった。	新型コロナウイルス感染症自体の感染の恐れによるもの
・グループホームでは区からマスクや手袋、ハンドジェルの提供があるため特に問題ない。	新型コロナウイルス感染症の影響はあるが、生活等の維持はできているもの

新型コロナウイルス感染症陽性時について	
アンケートからの意見	要因分析・課題分析 及び 今後も想定できる課題
<ul style="list-style-type: none"> ・通所先で感染した方がおり、結果グループホーム内全員が感染、または濃厚接触者となり約 10 日間、隔離生活となった。支援員への感染拡大の危険もあったため通常のローテーション勤務をやめて、特別体制で支援にあたった。 ・日中活動の施設でのコロナ感染症情報について、早い段階で、お互いに連絡すれ 	事業所等の体制維持のための課題

<p>ば、感染拡大を防げるのではないか。黄色信号で連絡をもらうことは可能だろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループホームは令和3年度にクラスターとなり、利用者、職員、短期入所利用者と感染し、大変厳しい運営となった。シフトが回せない、防護服等が大量に必要、職員は家族に感染する可能性があるため家に帰れない等があった。 ・入所施設では家族、友人等の感染により職員が濃厚接触者となった。入所利用者が感染した場合も、感染拡大防止と支援体制の維持が最大の課題となる。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・親が陽性になったとき、入院もできず、本人は濃厚接触者となるため外出できずに辛いがみるしかなかった。また、その後ご本人に感染の疑いが出たとき、みなし感染となり通院もできずに回復するまで不安だった。本人が感染した後に、親が感染した場合、本人は元気だが通所させられず、入院もできないため、親の負担が大きかった。 ・家族に陽性者がいる場合、陽性者以外の者が緊急に医療機関を利用したかったが、陰性が証明できても受診できず困った。また、やっと医療機関に繋がってもタクシーや公共交通機関は利用してはいけない、受け入れないと言われ自家用車がない場合どうしてよいか困った。 ・独居の方でできれば入院していただきたい方もいたが、軽度の為入院できない。保健所からの連絡を待っている間に5日以上経過し、熱や症状が治まってくるケースもあった。 	<p>政策や保健所・医療機関等の受け入れの課題</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での生活も3年目と長引くなか、各家庭に必要な物はある程度ストックしていると思うが、本人や家族が陽性や濃厚接触者で自宅療養となった場合、相談窓口や買い出しの手助けなど何か手だてがあるのか。 	<p>生活の維持のための課題</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・体験者の話など個人情報保護法等で知ることはできない。本人や介護者が感染した場合、PCR検査や入院先などをスムーズに探すことができるのか。 	<p>新型コロナウイルス感染症自体の感染の恐れによるもの</p>